



運動会で自信や喜びを膨らませた子どもたちの心と体は、今、たくましく充実しています。幼稚園生活の中でも、友達や先生との関わりを喜び、同じ目的をもって遊びをやり遂げようとしています。そして、まわりの自然の変化や美しさに気づき・共感し、どんぐりや木の実を集めて遊んだり、きれいに色づいた落ち葉を集めては目を輝かせたりしています。また、伊賀流忍者屋敷への遠足を楽しんだり、友達と歌声を合わせる心地よさを感じたりと、様々な経験も深めています。12月に行われる音楽会でも、子どもたちは伸びやかな歌声で、心の成長を発揮してくれることと思います。

自然体験は、子どもの心を豊かに育みます

子どもたちは、虫や草花、木の実や木の葉、空や雲など、自分の身近な自然や物に親しみをもっています。幼児期は、アニミズム(自然や物などすべての中に自分と同じように心があると思うこと)で物事を捉える時期です。「虫さん、寒そうだね」「葉っぱもきれいな色になって喜んでいるね」「使ったペンがそのままだとかわいそう」など、『どんなものにも心がある』ことを話すと、子どもには分かりやすく、しっかりと心に届くことを実感します。また、秋の自然界は美しく、冬へと向かう静けさやはかなさも感じる時期です。子どもたちの感性や情緒を育むためにも、秋の自然に触れ、いろいろなことを感じる経験を大切にしています。



園外へ出かけ、秋の葉っぱ探し。子どもたちのお気に入りにはみんな違い、個性を感じます。毎朝の落ち葉集め。「この葉っぱきれい」友達との会話も弾みます。熊手の使い方も、経験を重ね、上手くなりました。



いもほりの時、年少児と年中児が力を合わせて真剣にツルを引く姿に夢中を感じました。「ミミズいた!」「これは何の幼虫や!?!」「逃がしといたろ」と歓声を上げながら、いもほりをしました。



「これつないでみよう」「そうやな」「どんぐり通るかな」



どんぐりの中身に夢中。並べたり、比べたりしています

飾りを作る、木工にチャレンジする、どんぐりの中身を調べる、どんぐり転がしのコースを作る・・・自分で目的をもち、友達と協力して、夢中に遊ぶ子どもたち。ワクワクする心が深まります。

♪11月号 通信を読まれた感想等の他、何でもありましたらお待ちしております♪
クラス() 保護者名()